

# ワイヤレスWANガイド

# はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
本製品は、LTE通信モジュールを内蔵しており、ワイヤレスWAN通信が可能です。  
本書は、ワイヤレスWAN通信を行うための基本的な使いかたと注意事項について説明しています。ご使用前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
本製品の機能説明や取り扱い方法については、『本製品に付属の各種説明書』をお読みになり、操作を行ってください。





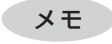


本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。

必ずお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

## 記号の意味

 <b>危険</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 <b>メモ</b>	知っていると便利な内容を示します。
 <b>役立つ操作集</b>	知っていると役に立つ操作を示します。
 <b>参照</b>	参照先を示します。 本書内への参照の場合 … 「 」 ほかのマニュアルへの参照の場合 … 『 』

\*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。

\*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 用語について

本書では、次のように定義します。

### システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

### アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

### Windows

Windows 10 HomeまたはWindows 10 Proを示します。

## 記載について

- 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「\*\*\*\*の場合」「\*\*\*\*のみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のSSDや付属のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは、表示例のため、一部省略したり、実際とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。  
画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。
- 本書では、付属のペン\*<sup>1</sup>による操作と、指で画面に触れる操作を、どちらも「タップ」や「スワイプ」などと表現しています。

\* 1 ペン付属モデルのみ

## Trademarks

- Microsoft、Windows、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

## ワイヤレスWAN 技術基準適合について

本製品は、電波法に基づくW-CDMA方式携帯無線通信用陸上移動局、W-CDMA (HSDPA)方式携帯無線通信用陸上移動局、およびLTE用陸上移動局として、認証を受けております。

本製品の内部の改造を行った場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

## 使用国について

- 本製品のワイヤレスWAN通信は、日本国内の無線規格を取得しています。nanoSIMカードが海外でご利用になれるご契約内容でも、海外電波法に抵触するおそれがありますのでご注意ください。また、電波法に抵触しない場合でも、海外ローミングによる高額な通信費用がかかるおそれがあります。十分ご注意ください。

## お願い

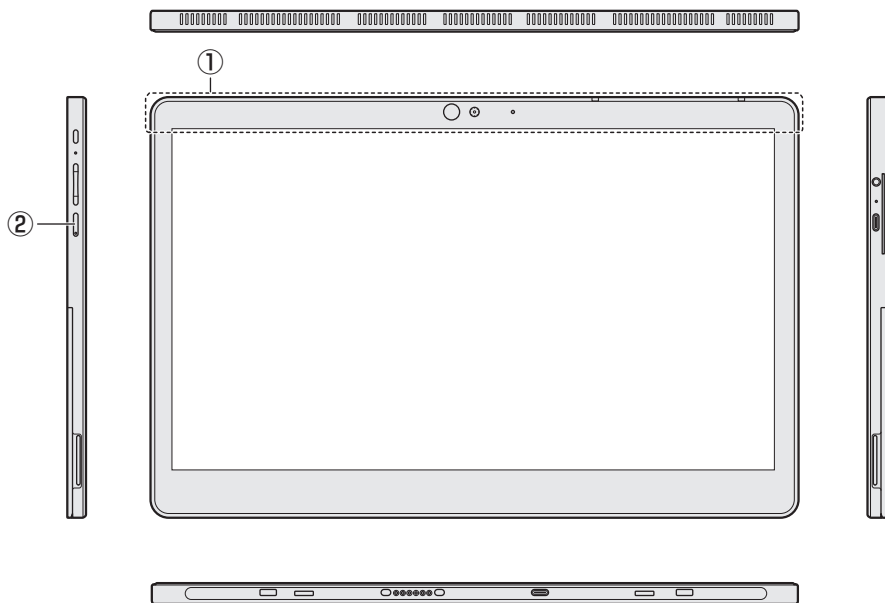
- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

## nanoSIMカードについて

- 本製品でワイヤレスWAN通信をご使用になるには、LTE通信に対応したnanoSIMカードが必要です。改造したnanoSIMカードは、使用しないでください。

# 1 外観図

本書で説明していない各部の名前と機能については、『本製品に付属の各種説明書』を確認してください。



① この部分に無線通信\*<sup>1</sup>用のアンテナが内蔵されています。

\* 1 無線LAN/Bluetooth<sup>®</sup>機能/LTE 機能

② SIMカードトレイ

## 2 ワイヤレスWAN通信について

ワイヤレスWAN通信は、ご契約された通信事業者のサービスエリア内で、LTE回線および3G回線がご使用いただけます。

### メモ

- サービスエリア、サービス内容やご利用料金などについては、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。
- 無線通信用アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所でもっとも良好に動作します。  
アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。  
▶ 参照▶ 無線通信用アンテナの位置「1 外観図」
- 本製品のワイヤレスWAN通信は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届きにくい場所のほか、屋外でもサービスエリア外および電波の弱い場所では使用できない場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であっても、使用できない場合があります。
- 電波が強く、電波状態の表示が良好で、移動せずに使用している場合でも、通信が切断する場合があります。

# 3 ワイヤレスWAN通信を行うには

## 1 nanoSIMカードをセットする

ワイヤレスWAN通信を行う場合、本製品にnanoSIMカードをセットします。nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカード（SIMカード）です。

『nanoSIMカードに付属の説明書』もご確認ください。

### 警告

- nanoSIMカードを取りはずしている場合は、カードを乳幼児の手の届かないところに保管する  
誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

### お願い

- nanoSIMカードのセット／取りはずしを行う際は、キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上に本製品を置いて作業を行ってください。
- nanoSIMカードのセット／取りはずしを行う際は、あらかじめデータを保存し、本製品の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。  
データ消失、故障のおそれがあります。
- nanoSIMカードを本製品にセットする際は、無理な力を加えず、慎重に行ってください。  
本製品の動作が不安定になったり、nanoSIMカード、SIMカードトレイが破損するおそれがあります。
- nanoSIMカードのIC部分（金色の部分）には触れないでください。静電気により、データ消失、故障のおそれがあります。

### メモ

- nanoSIMカードの紛失、盗難、破損については、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

## nanoSIMカードをセットする

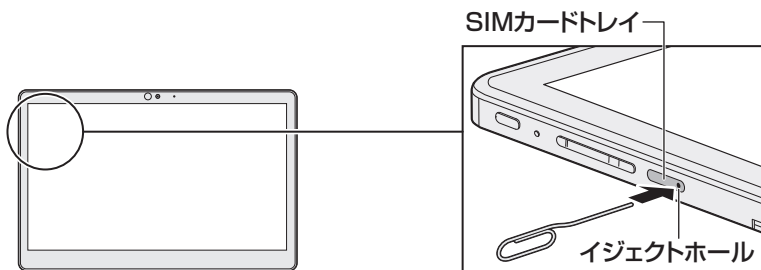
### ⚠ 注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する  
先端のとがった部分でけがをすることおそれがあります。

#### 1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 → 電源の切りかた『本製品に付属の各種説明書』

- 2 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類を本製品から取りはずす
- 3 SIMカードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す

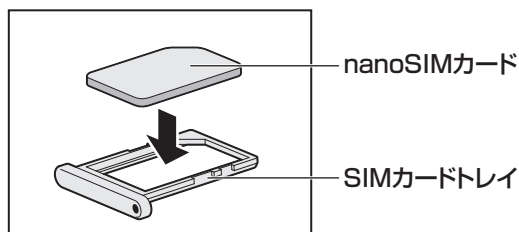


SIMカードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。

#### 4 SIMカードトレイにnanoSIMカードをセットする

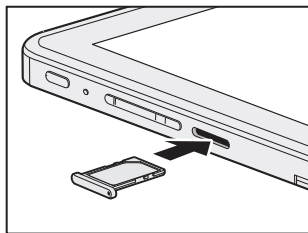
IC部分（金色の部分）を下に向け、角が欠けている部分を奥にして、SIMカードトレイにセットしてください。

nanoSIMカードは、前後や表裏を確認してください。イラストと異なる向きでセットしないでください。





- 5** nanoSIMカードがSIMカードトレイに正しくセットされていることを確認して、SIMカードトレイをゆっくり差し込む  
nanoSIMカードが正しくセットされていないと、ワイヤレスWAN通信はできません。





### nanoSIMカードの取りはずし

- 1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る  
参照 → 電源の切りかた『本製品に付属の各種説明書』
- 2 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類を本製品から取りはずす
- 3 SIMカードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す  
SIMカードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。
- 4 nanoSIMカードを取りはずす
- 5 SIMカードトレイをゆっくり差し込む

## 2 無線通信機能を有効にする

ワイヤレスWAN通信を行う場合、無線通信機能をONに切り替えてください。

### 警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す  
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る  
本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - ・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
    - ① 通知領域の  アイコンをタップする
    - ② [機内モード] をタップして、ONに切り替える  
ONになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
  - ・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - ・ 電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・ キーボードドックや薄型・軽量キーボードの接続時にディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

1 [スタート] ボタン (  ) をタップする

2 [設定] をタップする

[設定] 画面が表示されます。

3 [ネットワークとインターネット] をタップする

4 [機内モード] をタップして、「機内モード」を [オフ] に設定する

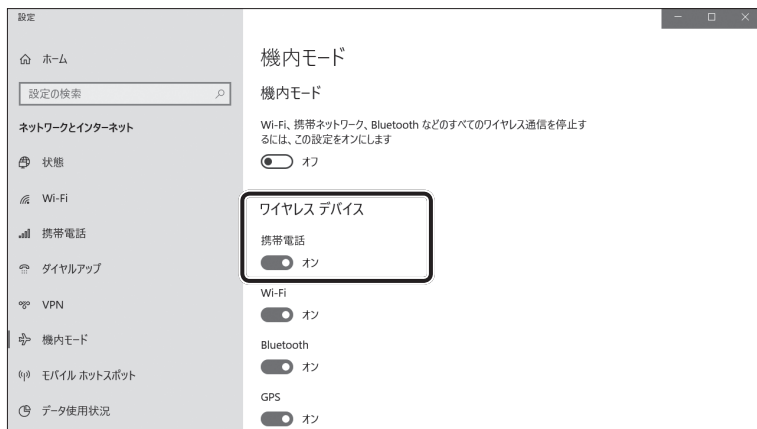
[オン] になっている場合は、[オフ] にしてください。

[オフ] にすると、無線通信機能がONになります。

## 5 「ワイヤレス デバイス」の【携帯電話】を【オン】に設定する

【オフ】になっている場合は、【オン】にしてください。

【オン】にすると、ワイヤレス WAN 機能が ON になります。




(表示例)

以降の設定は、「3-③ インターネットに接続する」を参照してください。

## 3 インターネットに接続する

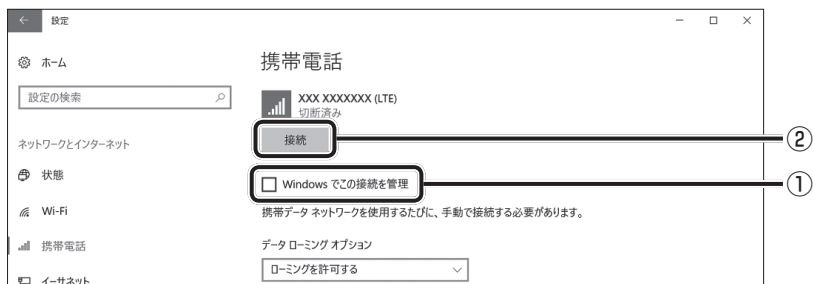
本製品におけるインターネット接続に関する設定を行います。

### 1 接続方法

- 1 [スタート] ボタン (  ) をタップする
- 2 [設定] をタップする  
[設定] 画面が表示されます。
- 3 [ネットワークとインターネット] をタップする
- 4 [携帯電話] をタップする  
ネットワーク名と、電波状態が表示されます。
- 5 ネットワーク名の下に表示されている [Windowsでこの接続を管理] のチェック有無を目的に応じて設定して①、[接続] ボタンをタップする②

自動的に接続したい場合は、[Windowsでこの接続を管理] をチェックしてください。

自動的に接続したくない場合は、[Windowsでこの接続を管理] のチェックをはずしてください。



(表示例)

接続が完了すると、「接続済み」と表示されます。



(表示例)

## 2 接続の切断方法

[携帯電話] 画面でネットワーク名の下に表示されている [切断] ボタンをタップしてください。「切断済み」の表示へ変わることを確認してください。


## 3 接続設定の確認方法

[携帯電話] 画面で [詳細オプション] をタップしてください。設定画面が表示されます。

## 4 インターネット APN の設定方法

APN の設定方法には、[設定] 画面から設定する方法と Wi-Fi<sup>®</sup> 一覧画面から設定する方法の 2 つがあります。ここでは、[設定] 画面から設定する方法について説明します。

### 1 [設定] 画面から APN の設定をする

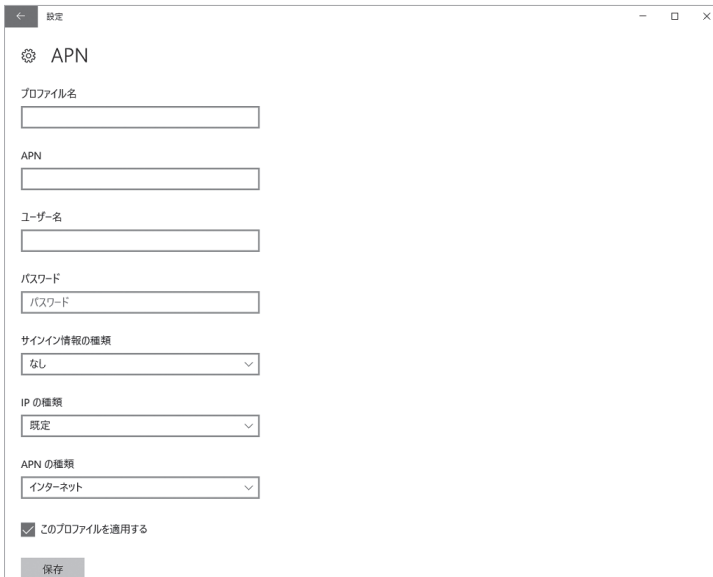
- 1 [スタート] ボタン (  ) をタップする
- 2 [設定] をタップする  
[設定] 画面が表示されます。
- 3 [ネットワークとインターネット] をタップする
- 4 [携帯電話] をタップする
- 5 ネットワーク名の下に表示されている [詳細オプション] をタップする

## 6 [APNを追加します] をタップする



(表示例)

プロファイル名、APN、ユーザー名、パスワード、サインイン情報の種類、IPの種類、APNの種類を入力後に保存すると、APNの設定が保存されます。



(表示例)

# 4 困ったときは

通信ができないときは、次のような流れで確認してください。

**nanoSIMカードが正しくセットされていることを確認する**

参照▶「3-① nanoSIMカードをセットする」



**無線通信機能を有効にする**

参照▶「3-② 無線通信機能を有効にする」



**通信圏外でないことを確認する**

参照▶「3-③ インターネットに接続する」



**インターネットの接続設定を確認する**

参照▶「3-③ インターネットに接続する」



**インターネットのAPN設定を確認する**

参照▶「3-④ インターネットAPNの設定方法」

# 5 お問い合わせ先／ご注意

---

## ■ 本製品について

---

本製品の取り扱い・設定などのご相談は、dynabook あんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

## ■ ワイヤレスWAN通信の設定について

---

本製品のリカバリー（再セットアップ）を行った場合は、無線通信機能やインターネットのAPNに関する設定がご購入時の状態に戻ります。

## ■ 本製品の修理時のご注意

---

- 修理の際にお客様からお預かりできるのは本製品のみです。  
nanoSIMカードはお手元に大切に保管してください。
- 修理期間中も、ご契約された通信事業者が提供する各種サービス料金は発生しません。ご了承ください。

## ■ ワイヤレスWAN通信を使用しなくなった場合

---

次の場合は、nanoSIMカードの解約や返却が必要です。解約や返却については、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

- 廃棄／譲渡（売却を含む）などで本製品を使わなくなったとき
- 本製品に搭載されているワイヤレスWAN通信を使用しなくなったとき



# 比吸収率 (Body SAR) について

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準\*<sup>1</sup> および、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、この製品に対する SAR の許容値は 2.0W/kg (手首から先を除く手足は 4.0W/kg) です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

- 世界保健機関 (英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

\* 1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。



## dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口

[固定電話から] **0120-97-1048** (通話料無料)

[携帯電話から] **0570-66-6773** (通話料お客様負担)

海外からのお電話や一部のIP電話などで、上記電話番号をご利用にならない場合は、**043-298-8780** (通話料お客様負担) へおかけください。

※電話番号はお間違えないよう、ご確認のうえおかけください。

[受付時間] 9:00-19:00 (年中無休)

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

日程は、サポートサイト ([http://dynabook.com/assistpc/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm)) にてお知らせいたします。

[ご注意]

- お問い合わせの前に、お買い上げの製品を「Room dynabook」にご登録ください。  
使いかた相談窓口のご利用には、「Room dynabook」へのご登録(お客様登録)が必要です。  
「Room dynabook」への登録方法は、『本製品に付属の各種説明書』をご覧ください。
- ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。  
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
  - ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
  - ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円(税抜き、予定価格)  
1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。  
お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいたうえでサービスを提供させていただきます。  
なお、詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。
- お電話いただく際には、「発信番号通知」をお願いいたします。
- おかけいただくくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。  
使いかた相談窓口は、ガイダンスの後で **[\*]1** をプッシュしてください。  
お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧ください。  
当社の個人情報保護方針のページ (<http://www.toshiba-tcs.co.jp/privacy.html>) をご覧ください。

- 本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
  - 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
  - 落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
- dynabook あんしんサポートにお問い合わせください。

## ワイヤレスWANガイド

2019年1月1日

第1版発行

GM9042799210

## 発行 Dynabook 株式会社

〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15 (NBF豊洲ガーデンフロント)



本書は植物性大豆油インキを使用しております。  
本書は再生紙を使用しております。

GM9042799210  
Printed in China